

SSKW

みんなの家 だより

225号

2016・9・12編集 社会福祉法人みんなの会 東大和市奈良橋6-728-2



6/26
第二みんなの地域交流会



すべての命は

尊厳に満ちたもの

相模原市の障害者施設で起きた事件は、社会に大きな衝撃を与え、二度とこのようなことを起こさせてはならない、と強い決意の声が広がるなか、容疑者の主張を賛美、賛同する声があることを直視しなければならぬと思います。容疑者の蛮行はどんな言葉をもってしても正当化できるものではありません。私たちは、みんなの家を利用する皆さんに励まされ、沢山のことを教えて貰っています。障害のある人たちがまちにすることで周囲の意識を変え、理解を深めるきっかけとなっています。

障害者はお金がかかる人たちという考え方は小泉構造改革で拡がり、自立支援法ができた頃からいつそう強まり、自立自助、自己責任が強調され、社会的に困難を抱える人たちに對する偏見や差別、排除が急速に進められてきています。

この痛ましい事件を契機に、障害のある人もない人も、すべての人が大切にされる社会の実現に向けて、人間の尊厳が最も大事にされる社会の在り方についてこれからもともに考え、発言し、行動していきましょう。

理事長 森田 実

第十七回 第一みんなの家 地域交流会

「来て！見て！作って！」 大成功〜！

今年地域交流会は、六月二十六日(日)におこなわれました。

毎年、狭い作業所の中で、陶芸体験・押し花体験・バザー・自主製品の販売・喫茶コーナーなどがひしめき合っていました。今年はバザーを屋外のテントに移動したことで、ゆったりと動きやすくなり、お客様にも喜んでいただきました。おかげさまで、自主製品の売り上げも伸びました。

交流会の目玉である体験コーナーには、いつもは小さなお子さんが多いのですが、今回は大人の方が多かったのも特徴で、皆さん楽しそうに創作しておられました。陶芸体験は二十四名、押し花体験は三十名の方が体験されました。

実行委員四名が中心になり、みんなで準備やお店番をして、売り上げは約三十万円、来場者数は一九五名となりました。十八名のボランティアさんが、猛暑の中を頑張ってくださいましたことに感謝します。また、ご近所の皆様にも来て頂き、うれしかったです。ご協力ありがとうございました！



応急救護職員学習会

七月五日(火)に、第三みんなの家で、翌六日(水)には、第一みんなの家にて第一・第二合同で、職員による応急救護の学習会を行いました。北多摩西部消防署の方に来て頂き、人形とAED(自動体外式除細動器)を使った講習を体験しました。

2人ペアになり胸骨圧迫の仕方、AEDの電源の入れ方、電極パッドの正しい貼り方などの説明を交えての本格的な実践練習でした。

救命の可能性は、時間とともに低下するので、救急車が到着するまでの応急手当が重要になります。皆さん命を救う為の応急手当という事もあり、身の引き締まる実践練習となりました。

心臓マッサージ中！

1！2！3！・・・



今年もぜひお越しください!

第三みんなの家では、十月十六日(日)に「第十八回地域交流会 第二みんなの家」に行ってみるDayを開催します。

毎年ご好評いただいているミニコンサート、今年は、作業所のクリスマス会などもお世話になっている石井のりおさんをお招きして、昭和歌謡やフォークソングなどをみんなで楽しみたいと思います。

外のスペースでは、大人気の国産炭火焼やきとり、焼きだんご、ミニバザーの模擬店がところ狭しと並びます。

室内では、日頃みんなで頑張って作っている陶芸品や手芸品などを多数販売。喫茶コーナーでは、昨年大好評だったちらし寿司、やきそばに加え、今年は初めて蒸しパンも用意します。

そして入口付近では、ハズレ無しのくじびきも! 誰でも抽選できますので、ぜひ運試ししてみてください。

当日、お客様に楽しんでいただけるよう、ただいま実行委員会準備を重ねています。みなさまのお越しを、所員、職員一同首を長くしてお待ちしています。

東大和市自立支援協議会

公開学習会

「よく知ろう! 差別解消法」

八月二十五日(木) 中央公民館ホールにて開催された公開学習会に、みんなの家からも多数参加しました。講師はDPI日本会議事務局長・内閣府障害者政策委員会の佐藤聡さん、自身も障害当事者で、障害者の人権擁護、バリアフリー運動の活動をしています。

講演では差別解消法について、直接差別や間接差別、合理的配慮などについて、柔らかい口調で、わかりやすく話してください、特に差別解消を妨げるNGワード「もし、何かあったら」「あなただけ特別扱いできません」「先例はありません」という提示に、自身身の今までの対応や姿勢を振り返り、耳の痛い思いでした。

後半は、視覚・聴覚・肢体・知的・精神の各障害当事者が、どんな時に差別されたと感じるかなど発言、みんなの家の参加者からは、それぞれの発言に思い当たったり、大変さがわかったりとてもよかったです感想が出されました。

第二に通所している宮原美雪さんも、一人暮らしのためアパートを探したが、障害者だからと、何回も断られたことなどを発言しました。

プロフィール
第一みんなの家

山田佐千子さん

山田さんは、二〇一五年四月から、第一みんなの家に通所されています。以前は釣りが好きで、よく海へ行っただけです。これからは四字熟語を勉強して教養を深めたいと前向きです。明るい性格で、すぐに作業所の皆と仲良くなり、これからも色々な行事に参加したいと積極的です。

作業は主に陶芸をしています。自宅ですぐに作りたいと紅茶用のカップを作ったり、実家の為にと、お魚用のお皿を作ったり、最近では、愛犬ボルトジュニアアッシュ君にえさ皿を作ったりと、楽しみながら積極的に取り組んでいます。

今後の抱負を聞きますと「みんなと楽しく、ボケもツツコミもしながら過ごす!」と、笑顔が素敵な山田さんです。

これまでの出来事

7月

- 5日 応急救護講習 (第三)
- 6日 応急救護講習 (第一・第二)
- 15日 ささえる会世話人会
- 15~16日 ニュースタッフセミナー
- 20日 第三者委員相談会 (第二)
第十三期第5回事務局会議
- 21日 合同職員会議
- 26日 所内交流の日

8月

- 2~3日 てんかん基礎講座
- 9日 社会福祉法人制度改革説明会
- 18日 第十三期第6回事務局会議
- 19日 ささえる会世話人会
- 23日 合同職員会議
- 24~29日 イトーヨーカドー展示即売会
- 25日 自立支援協議会主催学習会
- 29日 自治会連絡会
- 31日 支援コンサート実行委員会

9月

- 3日 第十三期第2回 理事会・評議員会
- 10日 ささえる会主催学習会
- 12日 施設建設検討会
- 15日 支援コンサート実行委員会

これからの予定 9月

- 16~17日 小平西高校押し花体験
- 20日 合同職員会議

第一みんなの家にて

開放Dayを行います!

9月28日 (水)

10時30分~14時30分

日頃の作業の様子や作品をご覧いただき、一緒にお茶を飲みませんか?手作りのクッキーと紅茶を用意してお待ちしております。

販売や体験もあります。ぜひ、この機会に「第一みんなの家」に遊びにきてください。

★自主製品販売

- 陶芸・手芸・さをり織り・押し花製品
- ・あめ・ジャムなど

★陶芸絵付け体験 700円

★さをり織り体験 無料

★やきとり販売

1本100円



第一みんなの家 東大和市奈良橋6-728-2

TEL 042-564-1900

FAX 042-564-1905

daiichiminnanoie@taupe.plala.or.jp

第二みんなの家 東大和市奈良橋1-276-2

TEL 042-567-0267

FAX 042-567-0258

dainiminnanoie@kjb.biglobe.ne.jp

第三みんなの家 東大和市中心2-1122-5

TEL 042-562-8776

FAX 042-562-8733

daisanminnanoie@kdr.biglobe.ne.jp

今すぐ
アクセス!!

ホームページはこちらです

<http://www.minnanokai.jp>

発行所

〒一五七〇〇七三

東京都世田谷区砧六・一六・一一

特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

定価五十円